

## 「リスクガバナンスを支えるリスク情報」

～環境と防災分野における地理空間情報システムを活用した

リスクコミュニケーションの事例を中心として～

開催日：2010年11月26日（金） 時 間：18：00～21：00

場 所：明治大学 駿河台キャンパス リバティータワー16階

参加費：無料（会員、非会員を問わず参加が可能です。） 定 員：50名

主 催：一般社団法人 日本リスク研究学会

共 催：独立行政法人 防災科学技術研究所

参加申込および照会先：先着事前申込制、軽食の準備の都合上、可能な限りメールにて、氏名、所属をご記載の上、事前にお申し込みください。空席がある場合には当日参加も可能です。申込および照会先：須永 洋平（独立行政法人 防災科学技術研究所・防災システム研究センター 研究員）電話：029-863-7543 メールアドレス：sunaga (A) bosai. go. jp (A) を@に置き換えてください。

### 【趣旨】

多様なステークホルダーによってリスクを協治するためには、リスク情報が不可欠となる。近年、化学物質や食品安全、まちづくり、福祉、防災、環境など、さまざまな分野で、地理情報システムを用いて、リスクを時空間的な文脈で評価し、リスクコミュニケーションを通じて計画策定や対策の立案が取り組まれている。

そこで、本ワークショップでは、環境と自然災害の2分野を事例として、市民参加やリスクガバナンスの視点から、地理情報システムを用いたリスクコミュニケーション手法の事例を紹介し、それらを巡る技術的・社会制度的な課題について、多様な分野のリスク研究者の方々と討論する。

なお、本ワークショップは、リスク研究学会として、若手研究者や実務家の方々の分野横断的なネットワークづくり、シニアの研究者の方々の若手研究者への助言の場づくりを目的とするため、飲み物と軽食を取りながら、自由な雰囲気で見聞交換を行いたいと思いますので、お気軽にご参加いただけますよう、お願いします。

### 【プログラム】

- ① 趣旨説明
- ② e 防災マップコンテストに見る災害リスクコミュニケーション（須永洋平 独立行政法人 防災科学技術研究所）
- ③ 相互運用型 GIS を活用した参加型リスク評価手法（田口仁 防災科学技術研究所）
- ④ 環境分野における Web-GIS を利用したリスクコミュニケーション（山本佳世子 電気通信大学）
- ⑤ 会場の参加者を交えた意見交換会